

**製品名: ACSS1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06536**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACSS1 ACSS1; ACAS2L; KIAA1846; Acetyl-coenzyme A synthetase 2-like; mitochondrial; Acetate--
別名	CoA ligase 2; Acetyl-CoA synthetase 2; AceCS2; Acyl-CoA synthetase short-chain family member 1
遺伝子 ID	84532.0
SwissProt ID	Q9NUB1
免疫原	抗血清はヒト ACSS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 611-660

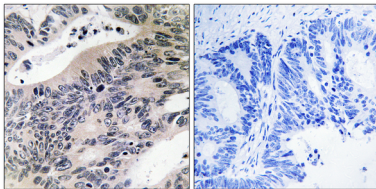
**背景**

この遺伝子はミトコンドリアのアセチル CoA 合成酵素をコードする。マウスの類似タンパク質は、酢酸からアセチル CoA への変換を触媒することで、トリカルボン酸回路において重要な役割を果たしている。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されている。[RefSeq 提供、2011 年 11 月],触媒活性:  $ATP + \text{酢酸} + CoA = AMP + \text{二リン酸} + \text{アセチル CoA}$ ,機能: 酢酸をアセチル CoA に変換し、トリカルボン酸回路を通じた酸化反応に利用して ATP と CO<sub>2</sub> を生成する。配列注意: 配列エラー。類似性: ATP 依存性 AMP 結合酵素ファミリーに属する。

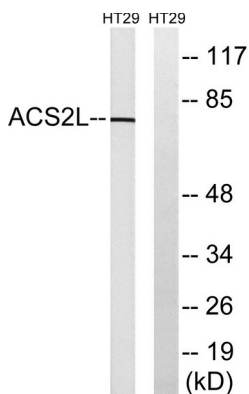
## 研究分野

解糖系/糖新生;ピルビン酸代謝;プロパン酸代謝;

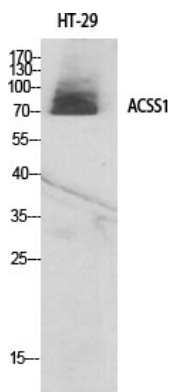
## 画像データ



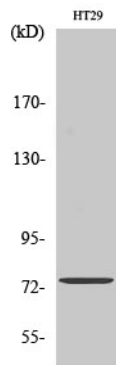
ACS1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



ACS1 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ACS1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



ACSS1 ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析